



みどりの里

宇奈月小学校だより

第 16 号

平成 30 年 3 月 23 日

目指す子供像 うんとかんがえる子 なかよくする子 つよいかからだの子 きれいなこころの子

黒部市立宇奈月小学校 〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山 205 番地 1
TEL(0765)65-2288 FAX(0765)65-2800

U R L <http://www.tym.ed.jp/sc13/>
E-mail unazuki-es@tym.ed.jp

さらなる高みを目指して

校長 四杉 昭康

3月16日(金)、本校の第12回卒業証書授与式を無事に終え、45名の卒業生がこの学び舎を巣立っていきました。式では、卒業生同様に多くの在校生も涙を流して別れを惜しんでいる様子がとても印象的で、先輩と後輩の絆を強く感じました。

少し寂しい気持ちで迎えた19日(月)の雨の降る朝のことでした。児童玄関前にいると、遠くから5年生のAさんが、カッパを着ないで登校している2年生を自分の傘に入れ、学校までずっと付き添って歩いてくる姿を目にしました。きっとAさんは、雨に濡れていた2年生を放っておけなかったのでしょう。その2年生も、傘の中で温かく包み込んでもらっているようで、安心した様子で一緒に歩いていました。玄関へ着くと、ぺこっと頭を下げ「ありがとうございました」と、Aさんにお礼を伝えていました。その光景を見て、寂しい気持ちも癒され、すっかり温かな気持ちになりました。自然な形で小さい子に寄り添うAさんには、先輩としての心構えが既に備わっているのだと感じました。また、その2年生も、先輩に優しく見守られ安心して行動ができる心地よさを味わいながら、進級への思いを高めようとしているように感じました。

この一年を振り返ってみますと、どの学年も一年前に比べて立派に成長したことを実感します。6年生が最高学年として有終の美を飾ったのと同様に、5年生もまた、共に高学年として学校内外の多くの行事やよりよい学校づくりに取り組んできたため、6年生に負けなくらい成長しました。特に3学期に入ってから、6年生を送る会の企画や運営、卒業式の準備や後始末等に熱心に取り組み、間もなく最高学年になる自覚が強く感じられるようになりました。1～4年生も、特に3学期は6年生を送る会の出し物の準備や発表を中心として、学級・学年の団結力を高め、達成感を味わいました。その成果が成長への足がかりとなり、進級する自覚を高める原動力にもなりました。一年一年を節目として、子供たちが限りない可能性に向かって成長し続けていることに、この上ない喜びを感じます。

今年度、保護者や地域の皆様からいただきましたご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。来年度もさらなる高みを目指し、学校教育の充実と改善に取り組んでまいります。

22日(木)最後の学級・学年集会の一コマから

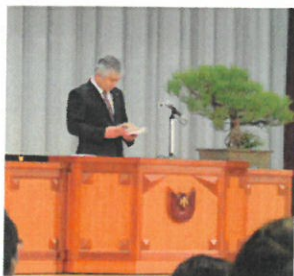


3年「3年生卒業プロジェクト」手作り証書授与



5年「カローリング」体験

45名の旅立ちのとき！……第12回卒業証書授与式より



たくさんの思い出を
ありがとう

ずっと応援してい
るよ……

限らない未来に向
かって、大きく羽ばた
こう！